

山口県の

当直 Report

レポート

現場での経験値が
大きくアップするのが当直

ここでは山口県の15の臨床研修病院の
当直についてピックアップ!
当直体制や研修医の役割などをチェックしましょう!!

1 / 岩国医療センター

【当直体制】
指導医1名、研修医1名で内
科を主に担当(土日は内科、
外科に分かれ、指導医1名、
研修医1名で日直/宿直をそ
れぞれ担当)
【当直回数(月平均)】3回
【当直時の患者数】約30人
【当直手当】
1年目、2年目共に
20,000円/月
(実労働時間追加で加算)

■ 研修医の役割
救急外来での宿日直業務。平日は研修
医2人と内科・外科系の指導医各1名、休
日は研修医2名と指導医各1名。ファース
トタッチとして、ある程度の診察や検
査を行う。
■ 指導医からのフィードバック
救急時が落ち着いた時や当直終了時に
必ず振り返りを行う。

2 / 周東総合病院

【当直体制】
指導医1名、
研修医1名
【当直回数(月平均)】
4回
【当直時の患者数】
10~15人
【当直手当】
日直: 20,000円/回
当直: 20,000円/回
副直: 10,000円/回

■ 研修医の役割
救急外来の日当直。研修科の指導医の
日当直日に、指導医のもと、副直医として
勤務。
■ 指導医からのフィードバック
基本的に直後に口頭でフィードバックを
行う。対応・診断・治療法について、十分
ではないところや間違いを指摘して指導
する。
■ 当直で身に付く手技・知識
急患対応に必要な基本的な知識や循環
確保・気管内挿管・皮膚縫合等の手技。

3 / 徳山中央病院

【当直体制】
内科当直指導医1名、外科
当直指導医1名、研修医1年
目、2年目各1名(当直時 副
直1名 17:30~22:00、土
日祝日直のみ研修医1年目
2名、2年目1名)
【当直回数(月平均)】3~4回
【当直時の患者数】50人
【当直手当】
日直: 1年次 38,880円/回
2年次 42,016円/回
当直: 1年次 50,400円/回
2年次 54,462円/回

■ 研修医の役割
救急外来日当直。1年・2年次研修医各1
名が内科系当直指導医、外科系当直指
導医のもと勤務。研修医が全てファース
トタッチを行う。
■ 指導医からのフィードバック
救急車症例と入院症例を毎朝救急モー
ニングカンファレンスで発表し、救急科
指導医とディスカッション。研修医は自身
の当直時以外でも朝カンファに参加する
ので、珍しい症例も疑似体験できる。

4 / 山口県立 総合医療センター

【当直体制】
研修医1年目1名、
2年目1名、
内科指導医1名
(原則として初期研修医は
内科系疾患のみ診療)
【当直回数(月平均)】3回
【当直時の患者数】40人
【当直手当】
21,000円/回

■ 研修医の役割
救急患者へのファーストタッチ、問診、
診察、検査オーダーなど。
■ 指導医からのフィードバック
Walkin症例は問診・身体所見の後にア
セスメントとプランを立てて指導医に相
談、その後の診療を行う。救急搬送症例
は指導医とともに問診や身体所見を取
り、一緒にアセスメント等を行う。CTを
取った症例は翌朝に救急専門医が読影、
見逃した所見や対応について個別に指
導することも。

5 / 済生会山口総合病院

【当直体制】
指導医2名、
研修医2名
【当直回数(月平均)】
3~4回
【当直時の患者数】
20人
【当直手当】
20,500円/回~
21,700円/回
(救急体制等による)

■ 研修医の役割
患者さんへのファーストタッチなど。
■ 指導医からのフィードバック
ファーストタッチ後、報告時にディスカ
ッションを行って方針を決定。患者が帰っ
た後、または後日に相談という形で
フィードバックを実施する。
■ 当直で身に付く手技・知識
心電図、MRI、CTなどの読み方、挿管。

6 / 総合病院 山口赤十字病院

【当直体制】
指導医2名、
研修医1~2名
【当直回数(月平均)】
4回
【当直時の患者数】
10~20人程度
【当直手当】
20,000円/回

■ 研修医の役割
上級医の指導のもと副当直に入り、
ファーストタッチ、トリアージ、検査オー
ダー、処置などを行う。
■ 指導医からのフィードバック
当直の場で足りなかったことなどを教え
てもらふ。必要ならば後日カンファレン
ス形式で症例検討し、フィードバックす
る。
■ 当直で身に付く手技・知識
救急患者への一通りの必要な
検査や処置。

7 / 小郡第一総合病院

【当直体制】
指導医2名、
研修医1名
【当直回数(月平均)】
2回程度(二次救急当番日
において)
【当直時の患者数】
15人程度
【当直手当】
20,000円/回

■ 研修医の役割
指導医の下での診察など、ファースト
タッチを行う。
■ 指導医からのフィードバック
指導医がマンツーマンで指導し、その都
度指導医が疑問に対し答える。
必要であれば後日症例検討も行う。
■ 当直で身に付く手技・知識
救急患者に対する初期・基本的な検査
及び処置。